

緃	ま	5:	ゔ゙゙゙゙゙	くりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評	局名	創造都市推進局		
総合計		政:	政策		多様性を尊重する社会の確立	価担	課(室)名	都市	交流室	
計		[施	策	誰もが活躍できる環境の形成	当当	電話番号	087	-839-2197	
				取組方針	多文化共生の推進	事	業期間	令和	6年度~令和13年度	
糸				事務事業	多文化共生推進事業					

【事業全体概要】

国際化の進展に伴い、近年増加する在住外国人等を支援するため、外国語に専門性を有する会計年度任用職員を配置し、案内表示板、チラシ等の翻訳や通訳業務を行うほか、(公財)高松市国際交流協会と協力し、日本語習得支援事業を実施し、在住外国人等が地域社会の一員として社会参画できる、多文化共生のまちづくりを推進する。
本年度概要
本年度概要
本年度概要
本年度概要
本年度概要
本年度

【事業の目的】

対象(何を) 在住外国人
意図(どのような
状態にしたいか)
近年増加している在住外国人等が、地域社会の一員として活躍できるよう支援し、社会参画を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
日本語習得支援事業開催回数	回	0	0	59	40	40

【事業の成果】

_ <u> </u>	₿美の风米】								
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別		R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	日本語習得支援事業参加外国人数	人	目標(実績(0 0	0 0	130 245	138	146
	成果指標の達成度(目標に対してどれ	300 <u> </u>							
成果指標	(公財)高松市国際交流協会と協力して行う日事業に新規事業が加わり、事業への参加外国人数とにより、在住外国人の生活支援や社会参画に	数が増加し	たこ	-	標達成度)	200 150		_	-
	できた。			(得点) 35点	50 0 R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R	
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	J	R 4	R 5	R 6	R 7	· 中期目標 - R 8
			目標(実績(
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれ	1							
指 標			(目	標達成度)					
				((得点)	<u></u>			
						⁻ R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R	7 R 8 R 9

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	14,373	15,149	22,744	22,815
(事業費)	[千円]	10,631	11,385	14,414	14,585
(職員人件費)	[千円]	3,742	3,764	8,330	8,230

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)		Ę	事業費
	英語・中国語の専門性を有する会計年度任用職員3人配置	報酬額等 14,414千	9 4	総額	14,414
令 和				国	0
			特定財源	県	0
6 年 度			財	市債	0
反				他	0
				设財源	14,414
	英語・中国語の専門性を有する会計年度任用職員3人配置	報酬額等 14,585千 	9 4	総額	14,585
令和				国	0
7			特定財源	県	0
年度			財	市債	0
岌				他	0
			-	设財源	14,585

【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
効 率 性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク A (80% 100%) B (60% 79%) C (0% 59%) A 総合点 率) 96 / 100 今後の方向性	評価ランク	%~ 79%) A	1 MO II MM 1	 今後の方向性 	継続
---	-------	-----------	--------------	-------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

(公財)高松市国際交流協会と協力して行う、日本語習得支援事業に新規事業が加わり、事業への参加外国人数が増加したことにより、在住外国人の生活支援や社会参画に寄与することができた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

近年増加傾向にある在住外国人等が、地域社会の一員として活躍できるまちづくりを推進することが必要とされており、今後も継続実 施していくことが適当である。

総ま		まちづくりの目標!			魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評	局名	創造	都市推進局
総合計画		政	政策		地域活力の創造	価担	課室名	都市多	交流室
		F	施	策	観光振興と交流の推進	当当	電話番号	087-	-839-2197
			ſ	取組方針	MICE誘致・都市間交流の推進	事	業期間	令和	6年度~令和13年度
糸				事務事業	国内交流推進事業				

【事業全体概要】

国内の提携都市との交流活動を推進するほか、高松市国分寺地域と「歴史文化交流協定」を締結している下野市と の交流事業を行う団体に対し、事業補助金を交付することにより、多彩な地域間交流を促進し、人がにぎわい、活力 あるまちづくりを進める。 事業 概要 交流事業補助金 国内都市訪問等 概要 市長マニフェスト

関連根拠法令

【事業の目的】

重点取組事業

高松市民 対象(何を) 国内提携都市との間で、多彩な地域間交流を促進する。 意図(どのような状態にしたいか)

【事業の活動】

	活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
国	内の提携都市との交流事業開催数	回	0	0	3	2	2

【事業の成果】

_ <u> </u>	事業の成果】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	国内の提携都市との交流事業参加者数	人	目標値 実績値	0	0 0	200 317	200	200
以果	成果指標の達成度(目標に対してどれ	400						
成果指標	高松市・水戸市親善都市提携50周年記念事業 戸市関係者や水戸市同様に歴史的つながりの深い 、高松松平家及び水戸徳川家の御当主に加え、	↑彦根市関 多くの高松	係者 市民	目標達成度) 158.5%	200		•	•
	が参加し、記念の年を祝うことにより地域間交流ができた。	(得点) 35点	100 R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R 7	7 R 8 R 9		
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
_45			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれ	1						
指標		(目標達成度)					
				(得点)	<u></u> _			
					R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R 7	7 R 8 R 9

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	4,242	4,264	10,104	9,167
(事業費)	[千円]	500	500	1,774	945
(職員人件費)	[千円]	3,742	3,764	8,330	8,222

【事業内容と事業費内訳】

	争集内台と争集員内部は									
項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)		Ę	事業費					
	交流事業補助金 国内都市訪問等	5 0 0 千円 1 0 3 千円	糸	8額	1,774					
令和	高松市・水戸市親善都市提携 50周年記念事業	1,171千円		国	0					
6			特 定	県	0					
年度			特定財源	市債	0					
反				他	500					
			— 舟	段財源	1,274					
	交流事業補助金 国内都市訪問等	5 0 0 千円 4 4 5 千円	糸	総額	945					
令 和	E-1 3 41-11 (331-3 t3			国	0					
7			特定財源	県	0					
年度			財源	市債	0					
				他	0					
			—舟	段財源	945					

【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
妥 当 性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
効 率 性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80% 100%) B (60% 79%) C (0% 59%)	Α	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
-------	--------------------------------------	---	---------	--------------------	--------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

水戸市との親善都市提携50周年記念事業を開催し、参加した多くの市民とともに記念の年を祝うことにより、地域間交流を深め、 人がにぎわい、活力あるまちづくりを推進することができた。

また、貴重な文化資源を相互に有し、長きに渡り交流を行ってきた高松市国分寺地域と下野市との交流事業に対する支援の継続は、 今後も必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

国内の提携都市との交流は、互いの地域の活性化や交流人口の拡大につながることから、継続実施することが適当である。

総	ま	5	づくじ)の目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評	局名	創造都市推進局
総合	Ιſ	政:	策		地域活力の創造	価担	課室治	都市交流室
計画		ſ.	施策		観光振興と交流の推進	当	電話番号	087-839-2197
画体			取約	組方針	MICE誘致・都市間交流の推進	事	業期間	令和 6年度~令和13年度
系			事	F務事業	国際交流推進事業			

【事業全体概要】

市民の豊かな国際感覚の涵養を図るため、海外の提携都市等との交流活動を推進するほか、国際交流団体への支援を通した市民レベルでの国際交流を促進する。

事業概要

______ 海外の提携都市等との交流

在度 概要 高松市国際交流推進協議会の開催 (公財)高松市国際交流協会事業補助

高松市・南昌市友好都市提携35周年記念事業

重点取組事業 市長マニフェスト 関連根拠法令

【事業の目的】

対象(何を) 高松市民

意図 (どのような 状態にしたいか) 海外の異なる文化や習慣を理解し、お互いを尊重し合える国際感覚を醸成する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
海外の提携都市との交流事業開催数	回	0	0	6	6	6

【事業の成果】

	ᆍᄊᇪᄎᇪ							
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
_45	海外の提携都市との交流事業参加者数	人	目標値 実績値	0	0 0	200 282	200	200
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれ	こだけ達成	できたか)		300 250	·		
指標	(公財)高松市国際交流協会や民間団体等と 提携都市との交流事業がコロナ禍前の水準で実施 き、事業参加者数を増やすことができた。			標達成度) 141.0%	200 150 100			
				(得点) 35点	50 0 R 2	R 3 R 4 R	5 R 6 R 7	
	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれ	こだけ達成	できたか)	•	1	•		
指標			(目標達成度)				
				(得点)		R 3 R 4 R	5 D 6 D 7	7 D O D O
					rt Z	N 3 N 4 N	2 K O K /	1.01.9

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	18,219	25,677	14,440	23,849
(事業費)	[千円]	3,251	10,623	6,010	15,596
(職員人件費)	[千円]	14,968	15,054	8,430	8,253

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)		틝	事業費
	海外の提携都市等との交流 高松市国際交流推進協議会の開催	3 , 3 8 6 千円 9 8 千円	糸	総額	6,010
令 和	(公財)高松市国際交流協会事業補助	2,526千円		国	0
			特	県	0
6 年 度				市債	0
反				他	47
			— 甪	段財源	5,963
	海外の提携都市等との交流 高松市国際交流推進協議会の開催	5 , 8 2 7 千円 1 3 2 千円	糸	総額	15,596
令 和	(公財)高松市国際交流協会事業補助 高松市・南昌市友好都市提携35周年記念事業	5 , 7 0 4 千円 3 , 9 3 3 千円		国	0
7	间位中 用自中众对部中促进了了对于记忆学来	3,333113	特定財源	県	0
年度			財源	市債	0
及				他	57
			一舟	段財源	15,539

【事業の評価】

区分	評価項目		評価基準
异眠兔	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
性	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
性	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
効 率 性	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80% 100%) B (60% 79%) C (0% 59%)	総合点(率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
-------	-------------------------------------	--------	--------------------	--------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

(公財)高松市国際交流協会や民間団体等と協力し、海外の提携都市との交流事業を、おおむねコロナ禍前の水準で実施することができ、事業参加者数を増やすことにより、市民の国際感覚の涵養が図れた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

市民の国際感覚の醸成に加え、民間国際交流団体の活動を促進することにより、地域の活性化やにぎわいの創出にもつながることから、継続実施することが適当である。